

みず“しるべ”

編集・発行
国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所
〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
ウェブサイトアドレス <https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>
メールアドレス cbr-shinmaru@mlit.go.jp
TEL0574-43-2780 FAX0574-43-3921
2021年(令和3年) 4月1日発行



第1回 丸山ダムフォトコンテスト

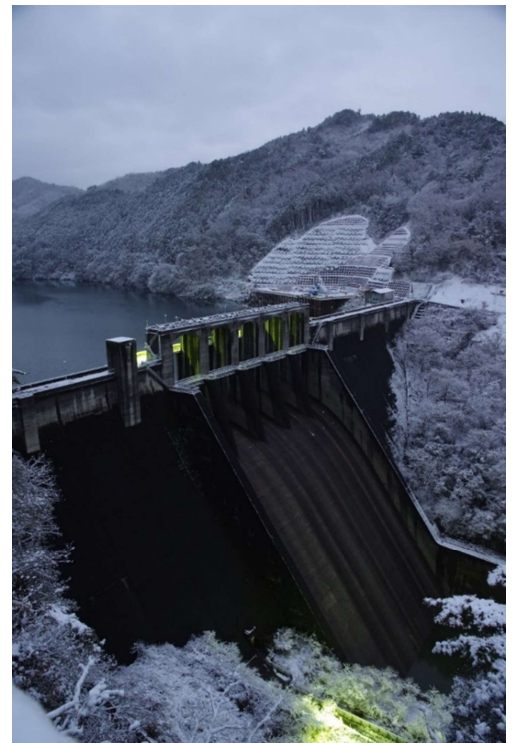
2021
85

Twitterで募集（R2.11～R3.2）していましたがフォトコンテストは、全28作品をご応募いただき、以下のとおり各賞が決まりました。

Twitterのインプレッション（閲覧総数）は、関連ツイートを含め30,000回を超えました。今後の広報手段のひとつとして、次回以降につなげていきたいと思えます。



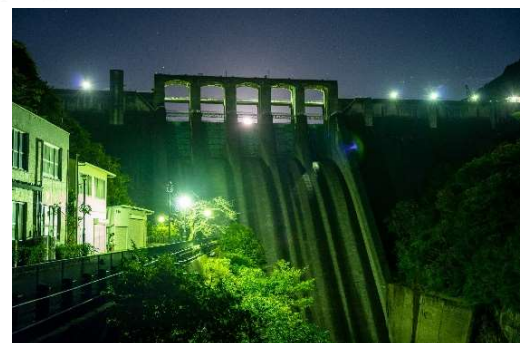
優秀賞「錦織りなす丸山ダム」撮影：ちょこすき～☆様



優秀賞「雪の朝」撮影：佳 様



佳作 「旅足橋から見えるダム」



佳作 「月と丸山ダム」

たくさんのご応募
ありがとうございました！
ダムの最新情報はTwitterから→



丸山ダム建設事業の目的

新丸山ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電を目的とする多目的ダムです。丸山ダムの下流47.5mの位置に、20.2m嵩上げして、ダム機能の向上を図るダム再生事業です。

① 洪水調節

1983年（昭和58年）9月洪水と同規模の洪水を安全に流すため、新丸山ダムの洪水調節容量を現在の丸山ダムと比較して7,200万 m^3 （約3.6倍）に増強します。

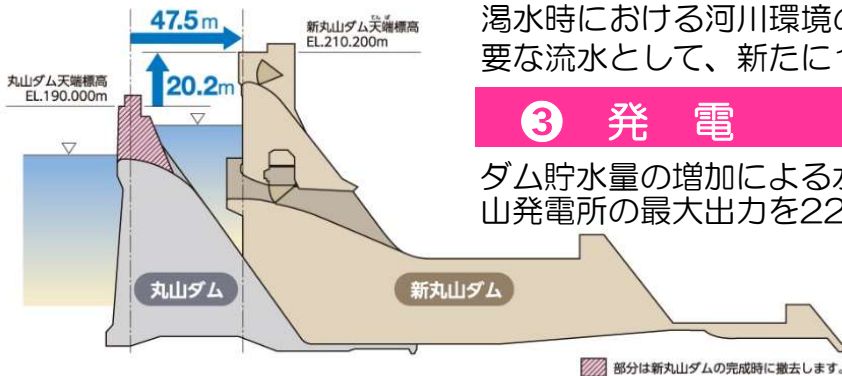
② 流水の正常な機能の維持

渇水時における河川環境の保全、既得取水の安定化等のために必要な流水として、新たに1,500万 m^3 の容量を確保します。

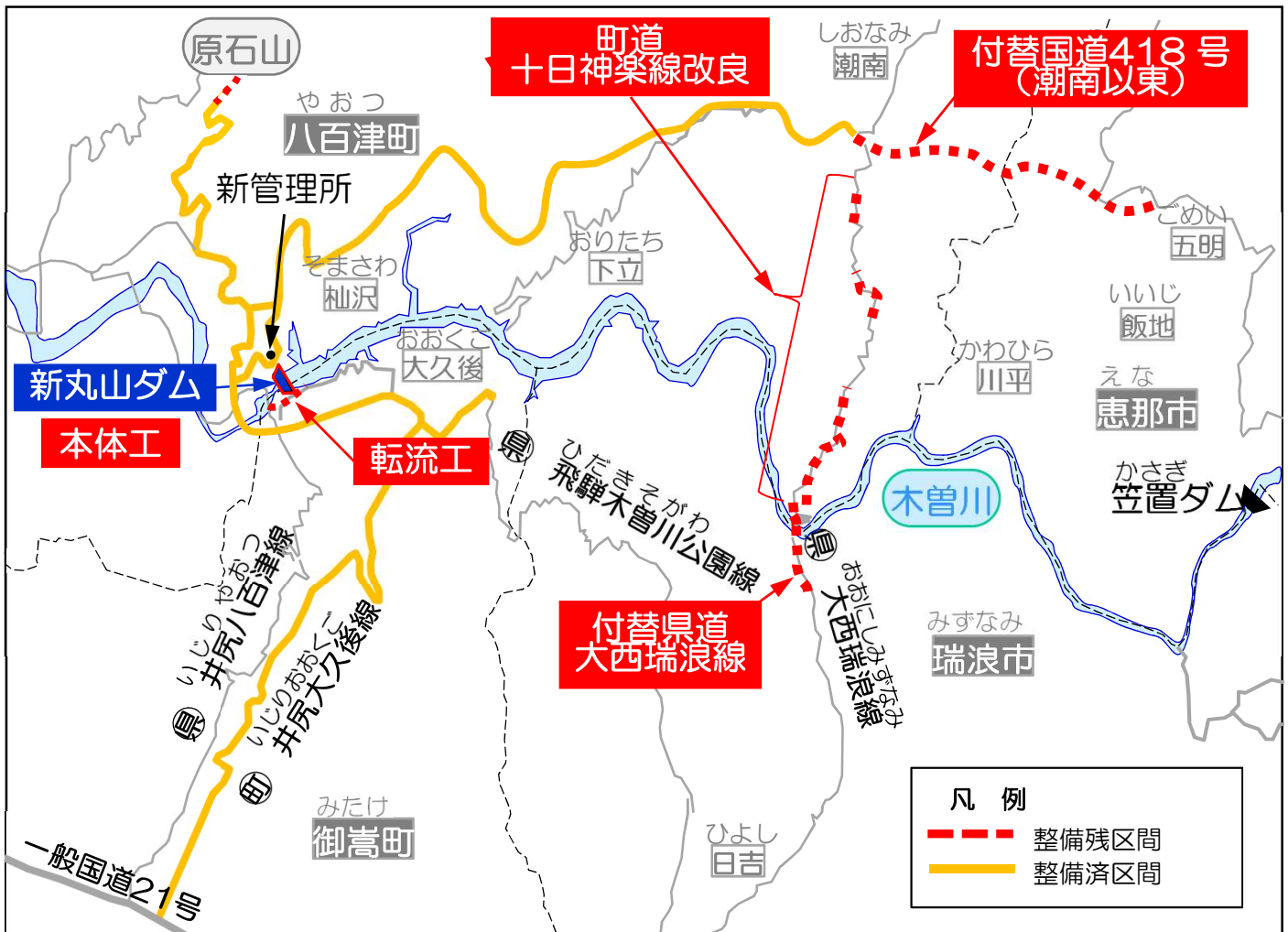
③ 発電

ダム貯水量の増加による水位上昇を利用して、丸山発電所と新丸山発電所の最大出力を22,500kW増加させます。

ダム側面図



令和3年度の主な事業箇所



令和3年度の工事箇所

付替道路等（国道418号、県道大西瑞浪線、町道十日神楽線等）



ダム周辺（転流工※）

※ダム本体工事期間中の洪水を処理するバイパス水路です



環境に配慮した本体工事の取組み

新丸山ダム建設予定地は、自然豊かな飛騨木曾川国定公園内に位置するため、豊かな自然環境に配慮した工事に向け「新丸山ダム環境調査検討委員会」に意見を聴き進めてきました。

ダム本体工事の着手に先立って、令和3年3月25日に第20回委員会を開催し、委員から助言をいただきました。環境保全との調和に努め、引き続き工事を進めていきます。



第20回委員会風景

本体工事での取り組み例

- ・騒音・振動の低減対策
- ・濁水の流出防止対策
- ・植物及び鳥類などの生息調査



濁水プラント



鳥類調査風景



植物調査風景

ダム本体建設第1期工事を契約締結しました

工事の概要：重力式コンクリートダム（堤高118.4m、堤頂長340.3m）

ダム土工

堤体基礎掘削667,000m³

原石山掘削317,000m³

堤体工

堤体コンクリート238,000m³

減勢工コンクリート86,000m³

ほか

受注者：新丸山ダム本体建設工事 大林・大本・市川特定建設工事共同企業体

契約日：令和3年1月28日

工期：令和3年1月29日 ~ 令和7年3月31日

重力式コンクリートダムとは？

ダム堤体の自重により水圧等の外力に抵抗して、貯水機能を果たすように作られたダムです。一般的には直線形で、断面は三角形をしています。

- ① 工事にあたっては騒音・振動対策を徹底し、事前に関係者の皆様へ説明し進めます。
- ② 木曾川本川の洪水調節の機能を維持しながら丸山ダムを嵩上げる国内でも前例のない難易度の高い工事となるため、安全を最優先に進めます。